

都市再生整備計画

おっぱまえきしゅうへん
追浜駅周辺地区②

かながわ よこすかし
神奈川県 横須賀市

令和4年12月

事業名	確認
都市構造再編集支援事業	<input checked="" type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	神奈川県	市町村名	横須賀市	地区名	追浜駅周辺地区②	面積	12.2 ha
計画期間	令和 4 年度 ~ 令和 8 年度	交付期間	令和 4 年度 ~ 令和 8 年度				

目標

大目標：都市構造再編集集中支援事業により、地区の交通ネットワークを向上させるとともに、市街地再開発事業により整備される商業、住宅に加えて公共公益施設等の集積を図り、賑わいのある地域拠点を形成する

目標1：地域拠点の賑わい促進

目標2：駅へのアクセス機能高め中心市街地の利便性向上

目標3：駅周辺の交通結節点機能を強化し、ユニバーサルデザインに配慮した環境整備

目標設定の根拠

都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。
 ・本市の都市計画マスタープランで当該計画している地区は、既存ストックを有効活用しつつ様々な都市機能を計画的に集積させ、歩いて暮らせるコンパクトな都市づくりの考え方として「拠点ネットワーク型都市づくり」を目標に掲げた都市構造を目指している。主要鉄道駅等を中心とする拠点市街地を形成し、歩いて暮らせる生活圏を形成すべく、居住機能や生活利便施設などの様々な都市機能の集積を図る。
 ・本市の人口は、この10年で約2万人減少しており、少子高齢化の波と市外への流出で人口減少が神奈川県内で先駆けて顕著な状況にある。そのため、本市の持つ地域の魅力や特性を生かし、重点的、戦略的に取り組んでいくべき政策分野と具体的施策について、横須賀市は再興プラン(実施計画)を策定し、特に重点に取り組む分野の主な施策の一つに拠点市街地の再形成がある。本市は、拠点市街地である追浜地区の再開発等を支援し、まちの防災性を高めるとともに、商業施設など都市機能の集積を図り、公共施設の再編にあたり再開発への参画など公民連携による取組みを推進することで、まちのにぎわいを創出し、追浜駅周辺地区グランドデザインで定めた「～追風～追浜 いつも未来の風吹く街」を目指す。
 ・本市における追浜地区の交通網整備の方針が都市計画マスタープランで示されており、追浜駅周辺の交通結節点機能を強化し、ユニバーサルデザインに配慮した環境整備を目指す。

まちづくりの経緯及び現況

・追浜地区は、海岸部の埋め立てによる海軍航空隊飛行場の跡地が、自動車・造船を中心とする産業用地となり、本市の中心的な産業ゾーンを形成している。
 ・昭和54年6月に追浜駅前第一種市街地再開発事業の都市計画決定を行い、駅北側の街区は完了したが、駅南側の街区については関係権利者の調整が整わず、長期にわたって事業が未着手であり、区域内のほぼ全ての建物は、築後50年程度経過しており老朽化が進んでいる。建物の不燃化や耐震化といった都市防災の観点からも早急な再開発の推進が課題であった。平成28年に事業推進における体制が整い土地利用計画の見直しもあって、令和3年2月に都市計画(変更)決定の告示が行われ、現在は、令和8年度の完了を目指して、市街地再開事業が進められている。
 ・追浜地区にある追浜コミュニティセンター南館は、1972年に建築され老朽化が著しいことから、地区内にある追浜行政センターや追浜保育園なども含め公共施設の再編について取り組んでいる。公共施設の再編にあたり追浜コミュニティセンター北館に入っている公立図書館(北図書館)を移転する必要が生じ、施設利用者の利便性の向上と従来の生涯学習の空間と併せて利用者の満足度を高める空間の形成が必要であり、駅前で市街地再開事業が施行されていることから、複合施設における相乗効果が期待され、まちづくりの観点から公民連携による一層の取組みが求められている。
 ・神奈川県では、障害者等が自らの意思で自由に移動し、社会参加することができるバリアフリーのまちづくりを目指して平成8年に「神奈川県福祉の街づくり条例」が施行され、本市においてもだれもが住みよいまちづくりに取り組んでいる。追浜駅の利用者数は、日当たり約4万2千人であり、横須賀市内で3番目に多いが、駅を利用するにあたり既存の立体横断施設は段差がありバリアフリー化が進んでいない。また、エレベーターは駅構内の北側に1箇所しかないため、駅を利用する高齢者の多くが横断歩道を通行しており安全な歩行者空間の確保が求められている。

課題

・地域拠点に子育て支援施設・商業施設、医療施設、金融施設、教育・文化施設の整備とあわせて、これらが活用できるネットワークの構築が求められている。
 ・駅前という立地から人々の流れはあるが、滞留する広場等の空間がない。また、地域の顔として更なる賑わいが求められている。
 ・地域拠点の核となる施設の整備とともに、市民や来訪者が回遊して時間消費ができるよう、地域資源を活かしたまちづくりが望まれる。
 ・地域拠点の幹線道路の一部ではバリアフリー化や歩道の整備も不十分であり、安心して歩ける歩行者空間の確保が望まれている。
 ・自転車等駐車場から商業施設へのアクセスが悪いため、市内で最も多い放置自転車等があり、安心して歩ける歩行者空間の確保が望まれている。
 ・国道357号が南下延伸されることから駅前の交通環境整備が求められている。

将来ビジョン(中長期)

【横須賀市都市計画マスタープラン】

・「住まいと職場の魅力高めまちづくり」海岸部の自動車を中心とした産業地。追浜駅周辺の商店街、みどりの環境と調和した住宅という地区の特性を今後も発展させていくまちづくりを目指す。

【横須賀市基本計画2011～2021】

・「にぎわいを生むプログラム」持続可能な産業構造や利便性の高い都市構造の構築を図るとともに地域資源を生かした新たなまちの魅力を創出し、にぎわいと活力に満ちた都市の実現を目指す。

【横須賀再興プラン(横須賀市実施計画)2018～2021】

・「経済・産業の再興」活力ある横須賀経済の源となる社会基盤の整備

【横須賀市立地適正化計画】

2019年3月策定。追浜駅周辺は地域拠点(地域での自立性のある活動を支えるために必要な複合的な商業、業務、各種サービス、教育、文化等の機能や地域医療、地域福祉の機能などの都市機能の集積を図る市街地)とし、本市全体の魅力と活力を高め、生活利便性の維持・向上に資する拠点の形成を図るため都市機能誘導区域を定めている。

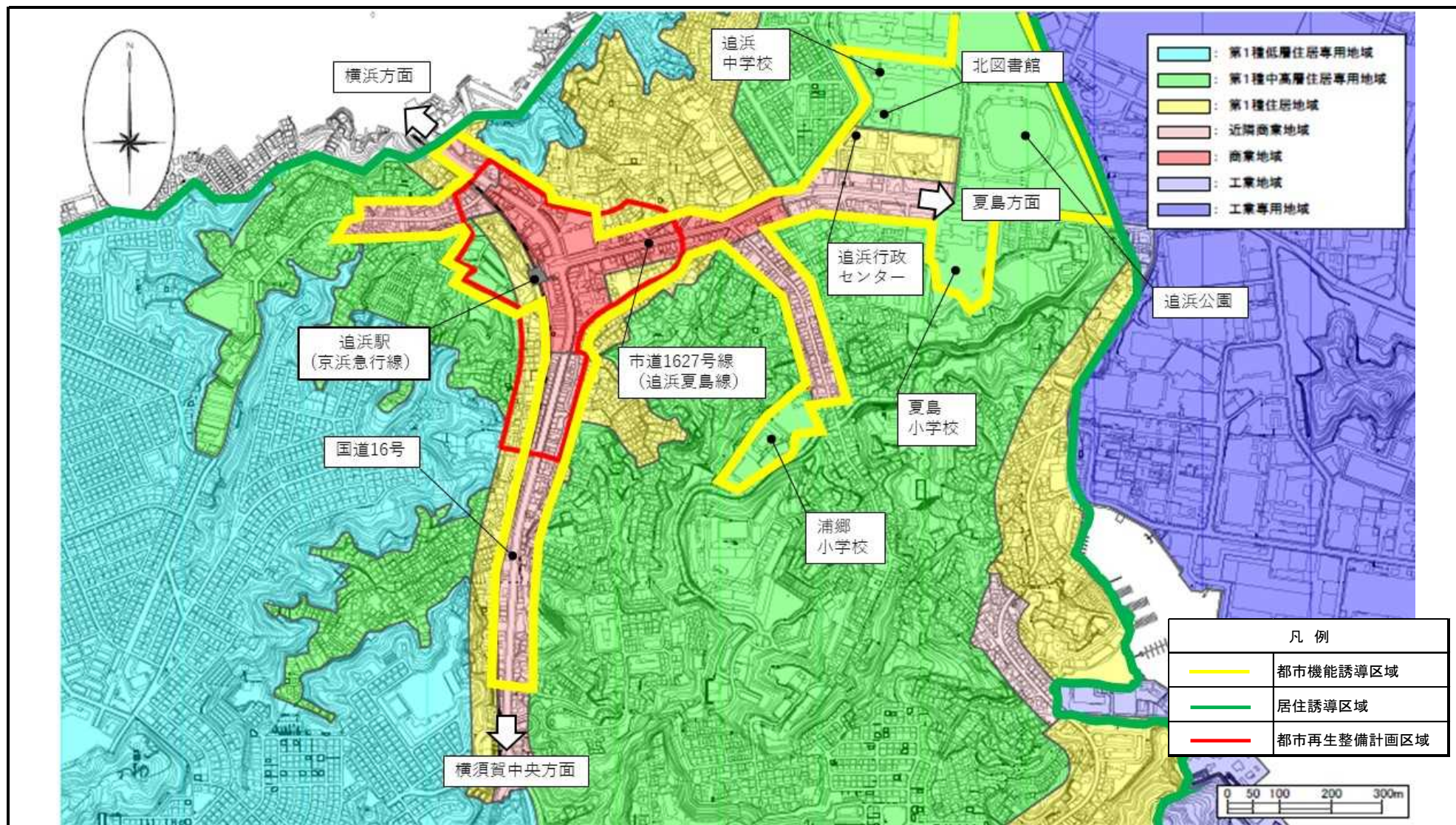
【追浜駅周辺地区グランドデザイン】

追浜の未来を示す一つの指標として、地区内で計画されている様々な事業の方向性を統一し、地域住民等の方からの大切なご意見も踏まえ、一体的なまちづくりを推進するために2021年3月に策定した。

整備方針等

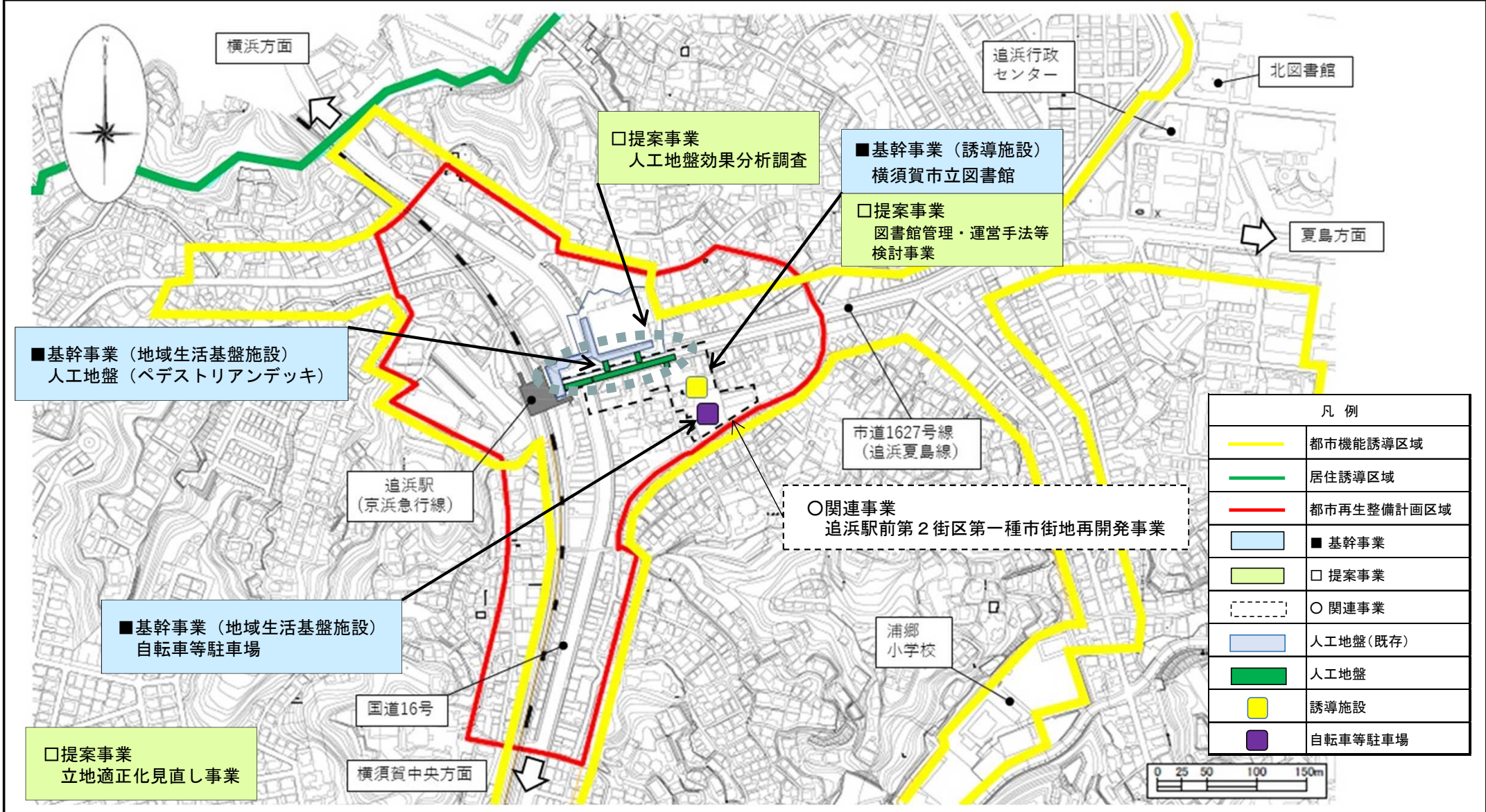
計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1【地域拠点の賑わい創出】 ・市街地再開発事業と連携して、教育・文化施設(図書館)を整備するとともに、長い時間、滞在できるような魅力ある地域拠点を形成する。</p>	<p>■基幹事業 【誘導施設 教育文化施設】 ・横須賀市立図書館 ■提案事業 ・図書館管理・運営手法等の検討事業 ■関連事業 ・市街地再開発事業</p>
<p>整備方針2【交通利便性の改善・回遊性の確保】 ・追浜駅から市街地再開発施設を通り、市道1627号線(追浜夏島線)の地上に至る安全な歩行者動線を確保する。 ・国道16号と平行して市道1627号線(追浜夏島線)を横断する歩行者導線を確保し、これら立体横断施設を組み合わせ、駅周辺の回遊性を高め、地区全体のネットワークの向上を図る。 ・放置自転車を減少させ、快適で安全な歩行者動線を確保する。</p>	<p>■基幹事業 【地域生活基盤施設】 ・人工地盤(ペDESTリアンデッキ) ・自転車等駐車場 ■提案事業 ・人工地盤効果分析調査</p>
<p>その他</p>	
<p>【商店街等と連携したまちづくり】 ・同地区で、「都市公園ストック活用によるスポーツ賑わい拠点創出事業」として追浜公園(運動)にプロ野球球団の総合練習場を誘致し、当該球団や地元商店会と連携してプロスポーツを中心としたまちづくりを推進している。</p>	

追浜駅周辺地区②(神奈川県横須賀市)	面積	12.2 ha	区域	追浜本町1丁目の一部、追浜町3丁目の一部、鷹取1丁目の一部、追浜町2丁目の一部、追浜南町1丁目の一部
--------------------	----	---------	----	--



追浜駅周辺地区②(神奈川県横須賀市) 整備方針概要図(都市構造再編集集中支援事業)

目標	地区の交通ネットワークを向上させるとともに、市街地再開発事業により整備される商業、住宅に加えて公共公益施設等の集積を図り、賑わいのある地域拠点の形成する。	代表的な指標	図書館の利用者数(万人/年)	9.6万人/年(2020年度)	→	17.2万人/年(2026年度)
			駅周辺の交通事故件数(件/年)	33件/年(2019年度)	→	29件/年(2026年度)
			駅周辺の放置自転車台数(台/回)	201台/回(2021年度)	→	100台/回(2026年度)



凡例	
	都市機能誘導区域
	居住誘導区域
	都市再生整備計画区域
	■ 基幹事業
	□ 提案事業
	○ 関連事業
	人工地盤(既存)
	人工地盤
	誘導施設
	自転車等駐車場